

事前評価点検結果表（内部評価）

事業名	主要地方道枚方高槻線交差点改良		
担当部署	都市整備部交通道路室道路環境課交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）		
事業箇所	枚方市牧野阪		
事業概要	目的	市街地再開発事業によって整備される、都市計画道路牧野駅前線との交差点において、右折待ち車両が直進車両の妨げになり慢性的な渋滞及び追突などの事故の要因となることが考えられる。よって、右折レーンを設置し、交差点付近の円滑な交通を確保することにより、渋滞緩和ならびに事故削減を図る。併せて、自歩道を整備することにより歩行者や自転車利用者の安全性の向上を図る。	
	内容	事業延長 42m 道路幅員 6.0m→16.0m 右折レーン設置 南行 1 箇所延長 20m 自歩道の拡幅整備 歩道幅員 3.5m 自歩道整備延長 72m（42m+30m=72m） ※両側整備	
	事業費	全体事業費：約 1.6 億円 （内訳）用地費 約 1.4 億円 工事費 約 0.2 億円	
		<table border="1"> <tr> <td>【事業費の積算根拠】 同路線における近傍の施工実績を参考に積算 （工事費=278 千円/m×施工延長 72 m）</td> <td>【工事費の内訳】 本體工 約 0.2 億円</td> </tr> </table>	【事業費の積算根拠】 同路線における近傍の施工実績を参考に積算 （工事費=278 千円/m×施工延長 72 m）
	【事業費の積算根拠】 同路線における近傍の施工実績を参考に積算 （工事費=278 千円/m×施工延長 72 m）	【工事費の内訳】 本體工 約 0.2 億円	
	事業費の変動要因	<p>【他事業者との協議状況】 再開発事業者及び警察協議と計画協議済み。</p> <p>【今後の事業費変動要因の予測】 補償物件の移転において、移転工法変更による事業費変更が発生する可能性がある。</p>	
	維持管理費	4.1 百万円/年・km（国土交通省 費用便益マニュアル）	
関連事業	牧野駅前地区第一種市街地再開発事業（平成 23 年度完成予定）		
上位計画等の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府都市基盤整備中期計画（案）改定版（H17.3 策定） 大阪府歩道整備計画（案）（H14.12 策定） 大阪府都市計画区域マスタープラン（H16.4 策定） 		
優先度	大阪府歩道整備計画（案）の「安全の確保」に向けた取り組みとして、「通学路や公共施設などの周辺の整備」方針に基づき、優先的に整備する必要がある。		

事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	平成 22 年度 用地買収 平成 23 年度 工事着手・工事完了 ※事業実施済区間より部分効果発揮
	完成予定年	平成 23 年度
事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	<p>○当該道路状況</p> <p>京阪本線牧野駅周辺に位置し、商店街が集積する地区であり、付近には大学、小学校、保育園、病院などが集積していることから歩行者・自転車・自動車交通量が多い。歩道が未整備のうえ、狭小のため非常に危険な状態。更に、市街地再開発事業によって整備される、都市計画道路牧野駅前線との交差点において、右折待ち車両が直進車両の妨げになり慢性的な渋滞及び追突などの事故の要因となることが考えられる。</p> <p>○交通センサスデータ（枚方高槻線 枚方市尊延寺～西牧野）</p> <p>自動車交通量：4,347 台/12h（H17 年） 自転車交通量：745 台/日（H17 年） 歩行者交通量：151 人/日（H17 年）</p> <p>○交通事故発生状況（当該箇所近傍） H15～H19（5 年間）：6 件</p> <p>参考として、平成 16 年度の道路局所管補助事務提要における「特定交通安全施設等整備事業採択基準」の一部を記載する。</p> <p>○歩道整備事業採択基準</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該区間の歩道整備前の車道部（路肩を含む。）幅員が原則として 5.5m（一方通行の道路にあっては 3.5m）以上あること。 当該区間の 12 時間自動車交通量が 1,000 台（通学路にあっては 500 台）以上あること。ただし、1 日の歩行者交通量が 500 人を超える場合はこの限りではない。 当該区間の 1 日の歩行者交通量が 100 人（通学路にあっては学童、園児が 40 人）以上あること。 原則として整備後の歩道の有効幅員が 2.0m 以上あること。 当該区間の歩道整備後の車道幅員が原則として 5.5m（一方通行の道路にあっては 3.5m）以上確保できること。
	地元等の協力体制	地元市等から早期整備要望がなされている。

事業効果の分析	費用便益分析	具体的な便益内容 —	備 考 交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。
	その他の指標 (代替指標)	—	
	定性的分析	<安全・安心> ・右折レーンの設置による事故防止 ・歩行者分離を図ることにより、歩行者・自転車利用者の安全を確保する。 <活力> ・誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（歩行者交通等の利便性向上） <快適性> ・交通利便性の向上	
自然環境等への影響と対策	右折レーン及び自歩道の設置のため一部用地確保を行うが、自然環境に影響を与えることはない。		

代替案との比較検討	交通の円滑化・安全確保のため右折レーン設置を適用する。 歩行者等の安全を確保するため、通行車両と歩行者などを物理的に分離できる自歩道整備を適用する。
その他特記すべき事項	—

評価結果

「事業実施は妥当」

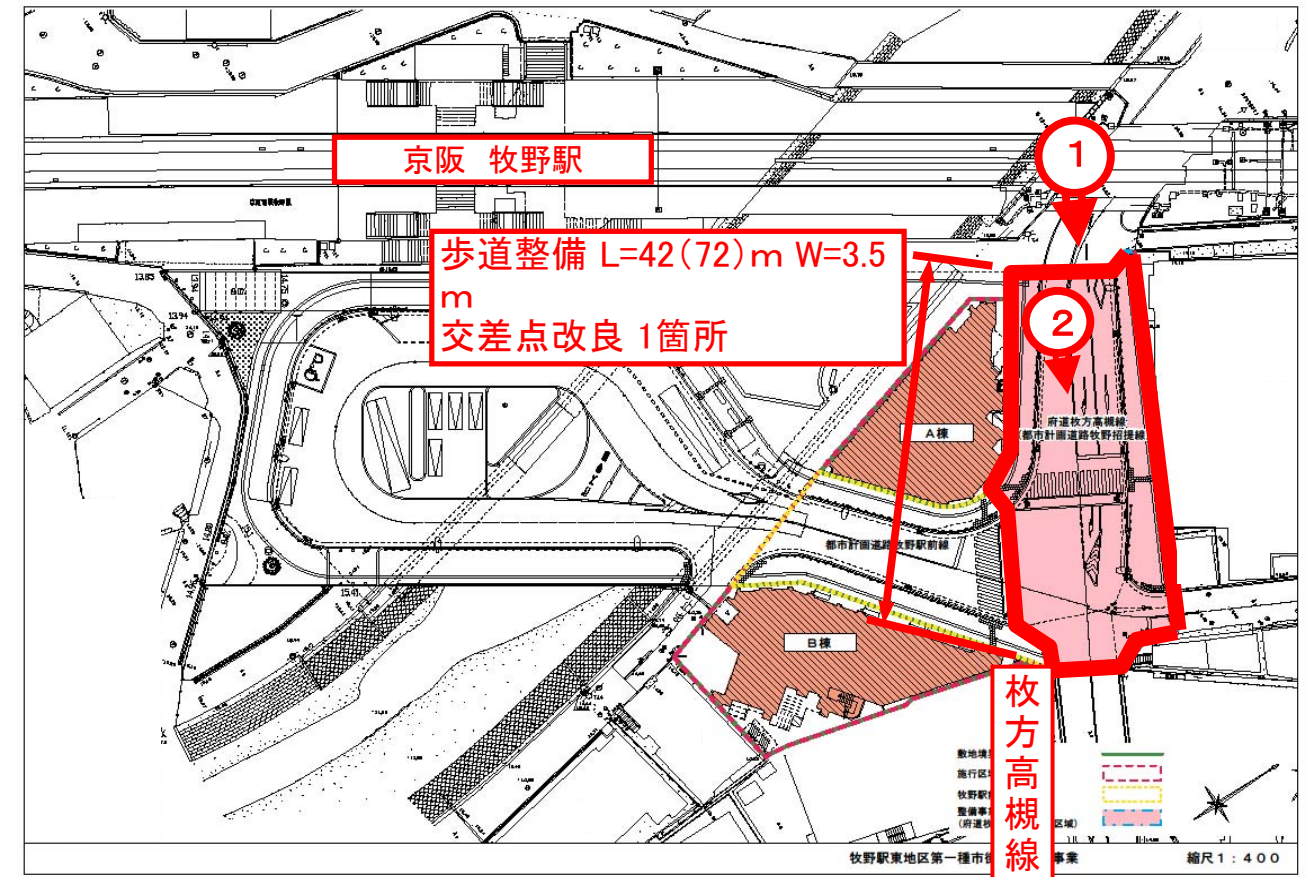
当該路線は、京阪本線牧野駅周辺に位置し、商店街が集積する地区であり、付近には大学、小学校、保育園、病院などが集積していることから歩行者・自転車・自動車交通量が多い路線であるが、歩道が未整備のうえ、狭小のため非常に危険な状態であり、更に、市街地再開発事業によって整備される、都市計画道路牧野駅前線との交差点において、慢性的な渋滞及び追突などの事故の要因となることが考えられる。自歩道の整備及び右折レーンを設置することにより、事故削減ならびに渋滞緩和を図り、高齢者や身体障害者をはじめ、誰もが安全・安心・快適に通行できる歩行空間が確保される。よって、「事業実施」とする。

主要地方道枚方高槻線（牧野阪）概要図

事業箇所図



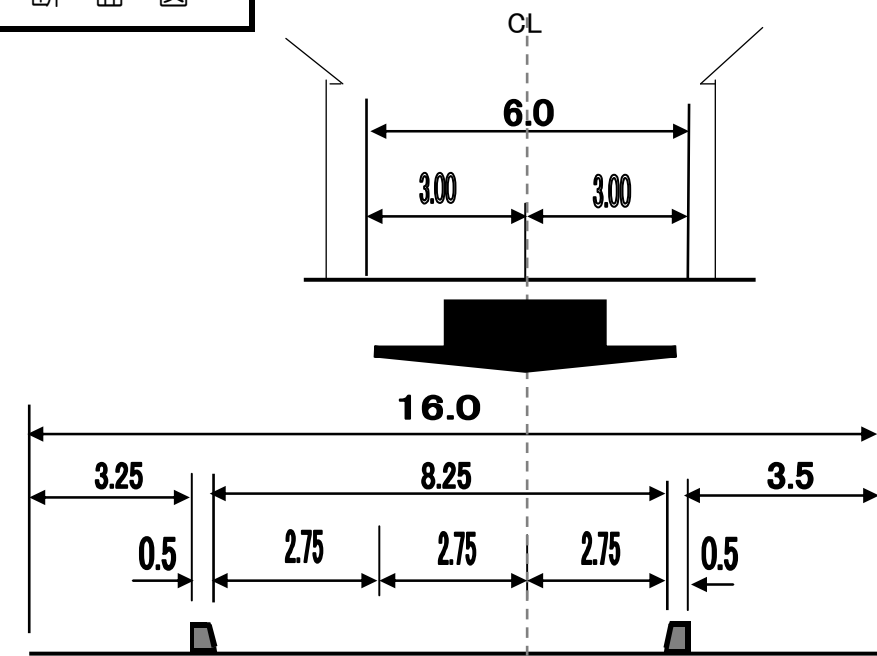
平面図



現況写真



標準断面図



整備前

整備後